



市政記者各位

令和4年7月22日
福岡市 総務企画局 国際部

「アジア太平洋都市サミット」の開催について

7月27日、28日に「第13回アジア太平洋都市サミット」(詳細は別紙1)を開催します。
国連ハビタット事務局長のマイムナ・モハメッド・シャリフ氏、デジタル大臣の牧島かれん氏が現地で講演を行うほか、アジア太平洋地域の都市や、国際機関、大学、企業等によるオンラインセッション等を行いますので、ぜひ取材いただきますようお願いします。

<取材いただける内容>

①7月27日(水) 11:30~受付開始〔会場：大濠公園能楽堂〕

12:00~12:30 オープニングセッション

(高島市長挨拶、参加都市紹介等)

12:30~12:50 基調講演(国連ハビタット シャリフ事務局長)

13:00~14:30 リーダーズフォーラム

・特別講演(牧島デジタル大臣)

・都市発表、意見交換(高島市長、海外都市の首長)



②7月28日(木) 15:00~受付開始〔会場：福岡市美術館〕

15:30~16:30 福岡方式グローバルネットワーク設立記念セッション

(内容は別紙2をご覧ください)

17:00~17:30 クロージングセッション

(共同宣言発表、高島市長挨拶等)



取材いただける場合は、7月26日(火) 17:00までに別紙3をご提出ください。

【取材申込み・アジア太平洋都市サミット全般に関する問合せ先】

総務企画局 国際部 アジア太平洋都市サミット担当 松田

電話:711-4513 Fax:733-5597

メール: apcs@city.fukuoka.lg.jp

【福岡方式グローバルネットワーク設立記念セッションに関する問合せ先】

環境局 環境政策部 環境政策課 山中

電話:733-5383

特設サイト



The 13th
Asian-Pacific City Summit
Fukuoka, Japan



新しい価値観、新しいまちへ *New Values - New Cities*

第13回

アジア太平洋都市サミット

7.27(水) → 7.28(木)

登壇者 / Speakers

アジア太平洋の都市のリーダーたちが、
コロナ禍を乗り越えた先の新しいまちづくり
について議論します。

あなたが思い描く新しいまちはどんなまちですか？
自分たちが暮らすまちの未来について、
一緒に考えてみませんか。



国連ハビタット事務局長
マイムナ・モハメッド・シャリフ氏



デジタル大臣
牧島 かれん氏

参加登録は
特設サイトへ



参加登録 をしてサミットに参加しよう！

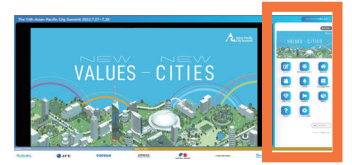
1. 特設サイトにアクセス
2. オレンジボタン「参加登録」をクリック



<https://apcs13th.fukuoka.jp>



視聴ページでは
様々なコンテンツを配信中！



プログラム / Programme

DAY1 7/27 (水)

12:00~12:30	オープニングセッション 開会 / 主催者挨拶 / 参加都市紹介
12:30~12:50	基調講演 国連ハビタット事務局長 マイムナ・モハメッド・シャリフ氏
13:00~14:30	リーダーズフォーラム
15:00~15:15	企業講演I (株)クボタ 執行役員 環境事業部副事業部長 福原 真一氏
15:15~15:30	企業講演II JFEエンジニアリング(株) 常務執行役員 福田 一美氏
16:00~17:30	国連ハビタットセッション

DAY2 7/28 (木)

10:00~11:00	九州大学セッション
12:00~14:00	分科会A テーマ 「誰一人取り残さない社会に向けた行動」 モデレーター：新井 裕子氏 (世界銀行 都市開発専門官)
12:00~14:00	分科会B テーマ 「脱炭素社会の実現に向けた行動」 モデレーター：加藤 真氏 ((一社) 海外環境協力センター-理事)
12:00~14:00	分科会C テーマ 「ニューノーマルのまちづくりに向けた行動」 モデレーター：相澤 伸広氏 (九州大学比較社会文化研究院准教授)
15:30~16:30	福岡市セッション
17:00~17:30	クロージングセッション

※ サミット開催期間中には、上記のプログラムのほか、国土交通省や世界銀行東京開発ラーニングセンターが主催するサイドプログラムが開催されます。詳しくは特設サイトをご覧ください。

※ 分科会の配信はありません。

※ プログラムはすべて日本時間です。また、プログラムは予告なく変更になることがあります。

協賛企業 / Partners



後援

デジタル庁、総務省、外務省、国土交通省、環境省、国際連合広報センター (UNIC)、国際連合開発計画 (UNDP)、一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ)、独立行政法人国際協力機構 (JICA)

第13回 アジア太平洋都市サミット

福岡方式グローバルネットワーク設立記念セッション

福岡方式の課題と今後の展開

福岡市が福岡大学と共同で開発した廃棄物埋立技術「福岡方式」(準好気性埋立構造)は、近年世界各地で導入が進み、世界のごみ問題の解決に大きく貢献しています。

福岡方式について共に学びあい、「福岡方式」の正しい理解の定着を図ることを目的に、「福岡方式グローバルネットワーク(FMGN)」を設立します！

設立を記念し、セッションを開催します。ネットワークの紹介のほか、福岡方式の専門家をお招きし、講演・パネルディスカッションを行います。皆さんと一緒に「福岡方式」の課題と今後の展開を考えていきます。ぜひご視聴ください。

【視聴方法】 第13回 アジア太平洋都市サミット特設ページにアクセス
<https://apcs13th.fukuoka.jp/> ※要事前申込み・視聴無料

令和4年

【日時】 7月28日(木) 15:30-16:30

【プログラム】

第1部 FMGN 設立発表、来賓挨拶(山口環境大臣)、取組紹介
(ビデオメッセージ)



▲参加登録特設サイト

第2部 基調講演

講演テーマ：福岡方式におけるモニタリングと評価の重要性
(講演者)

● 福岡大学 工学部教授 田中 綾子氏



パネルディスカッション

テーマ：共に学ぶことの重要性
(パネリスト)

● 福岡大学 名誉教授

NP0法人廃棄物管理アドバイザーネットワーク福岡 理事長 松藤 康司氏

● 福岡大学 工学部教授 田中 綾子氏

● 環境・廃棄物関係のコンサルタント Theng Lee Chong氏

(モデレーター)

● 国連ハビタット福岡本部本部長補佐官 星野 幸代氏

◆ 福岡市環境局環境政策課 ◆

TEL 092-733-5381 FAX 092-733-5592 Email k-seisaku.EB@city.fukuoka.lg.jp



来賓プロフィール



環境大臣

やまぐち つよし
山口 壯氏

出身地・兵庫県 衆議院議員 兵庫12区、当選7回
昭和54年・東京大学法学部卒業、平成元年・米国ジョーンズ・ホプキンス大学院(博士号)修了。
昭和54年、外務省(経済局国際機関第2課)入省後、外務省総合外交政策局国際科学協力室長等を歴任。
平成12年に衆議院議員総選挙初当選(第42回)。
令和3年環境大臣、内閣府特命担当大臣(原子力防災)(第一次岸田内閣)。

講演者プロフィール



福岡大学工学部教授

たなか あやこ
田中 綾子氏

1979年、福岡大学薬学部卒業後、埋立地の微生物、モニタリング、コンポスト関係の専門家として、長年福岡方式の研究に携わっている。途上国での福岡方式の技術移転の経験も豊富。2011年、福岡大学工学部教授に就任し、現在に至る。福岡市、福岡県等の環境関係の各種委員を務めるなど活躍は多岐にわたっている。「令和3年度廃棄物・浄化槽研究開発功労者」として令和3年度環境大臣賞を受賞。博士(薬学)。

パネリストプロフィール



福岡大学 名誉教授

NPO法人廃棄物管理アドバイザーネットワーク福岡 理事長

まつふじ やすし
松藤 康司氏

1971年、福岡大学薬学部製薬化学科卒 薬剤師 技術士(衛生工学部門) 博士(工学)
専門分野は、廃棄物埋立、埋立地の微生物、廃棄物処理処分、途上国の廃棄物問題、使用済紙おむつの再資源化システムの開発など。
1988年~1990年、JICA長期専門家としてマレーシアに派遣され、JICA や国連ハビタットの廃棄物専門家として多くの国で福岡方式の技術移転を行っている。
2018年3月、福岡大学工学部定年退職後、福岡大学名誉教授に就任。
元廃棄物学会理事、副会長の他 IWWG 理事、JICA 集団研修(廃棄物処理処分)講師など。



環境・廃棄物関係のコンサルタント

Theng Lee Chong氏

マレーシアアプトラ大学(UPM)で学士号と修士号を取得し、福岡大学工学部で松藤教授のもと、博士号(PhD)を取得。日本の廃棄物管理についても造詣が深い。
廃棄物管理の分野で20年以上の経験を持ち、国内の様々なプロジェクトに参画するほか、国連ハビタットや国連環境計画などの国際会議でも活躍。
また、トレーニング及び意識向上活動にも貢献しており、国内外の会議やイベントにスピーカーとして招聘されるなど、専門的知見は地元メディアにしばしば取り上げられている。

●モデレーター



国連ハビタット福岡本部部長補佐官

ほしの さちよ
星野 幸代氏

2004年より国連ハビタット福岡本部に勤務。イラク担当専門官としてイラク復興事業に従事したのち、現在は本部長補佐官として、廃棄物や上下水など環境分野のプロジェクトをアフリカやアジア太平洋地域で実施している。国内では、自治体・公共機関・教育機関などの委員等を務める。



FAX:092-733-5597 E-mail: apcs@city.fukuoka.lg.jp
 第13回アジア太平洋都市サミット実行委員会行（担当：稲永）

第13回アジア太平洋都市サミット 取材申込書

申込締切 令和4年7月26日（火）17時まで

御社名		
御社所在地		
連絡責任者	氏名	(ふりがな)
	電話番号	
	携帯電話番号	
	FAX	
	E-mail	
スタッフ人数	名	

【当日の取材について】

- 当日は、各会場入り口付近（美術館は南口）に受付を設置しておりますので、受付で名刺をお渡してください。
- 取材の際は、全員の腕章の着用を必ずお願いいたします。
- また、オンライン配信用のカメラへの映り込みを避けるため、当日は取材可能なエリアを設けさせていただきますので、予めご了承ください。
- A帯ワイヤレスを使用する収録・録音は、会場機材と干渉する可能性がありますので、お控えください。B帯ワイヤレスの収録・録音機材は、ご使用いただけます。
- 収録用のラインが必要な場合は、事前にお知らせください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、取材に置かれましては、検温、手や指の消毒、マスクの着用にご協力いただきますようお願いいたします。